

安吾賞とは生きざま賞である。

安吾賞

第八回

新潟市

新潟

世界



Ange
AWARDS 8TH



①あぜ道（1991）パネル、和紙、岩顔料、アクリル絵具 73x52cm 豊田市美術館蔵 撮影：宮島徳 ②大山椒魚（2003）パネル、アクリル絵具、314x420cm 撮影：木奥恵三 ③考えない人（2012）FRP、その他 313x181x150cm 撮影：木奥恵三 ④紐育空爆之図（戦争画RETURNS・にゆうようくくうばくのす）（1996）襷、蝶番、日本経済新聞、ホログラムペーパーにプリント・アウトしたCGを白黒コピー、チャコールペン、水彩絵具、アクリル絵具、油性マーカー、事務用修正ホワイト、鉛筆、その他（六曲一隻屏風） 174x382cm 零戦CG制作：松橋睦生 撮影：長塚秀人
①～④：© AIDA Makoto Courtesy Mizuma Art Gallery



【会田誠プロフィール】

1965年新潟市生まれ。1991年東京藝術大学大学院美術研究科修了。絵画のみならず、写真、立体、パフォーマンス、インスタレーション、小説、漫画など表現領域は多岐にわたる。ミヅマアートギャラリーを中心に国内外の展覧会に多数参加。近年の主な展覧会に「アートで候。会田誠・山口晃展」（上野の森美術館、2007年）、「THE BEAUTY OF DISTANCE: Song of Survival in a Precarious Age」（第17回シドニービエンナーレ、オーストラリア、2010年）、「Medi(t)ation」（第3回アジアアートビエンナーレ、国立台湾美術館、台中、台湾、2011年）、「The Best of Times, The Worst of Times, Rebirth and Apocalypse in Contemporary Art」（第1回キエフビエンナーレ、ウクライナ、2012年）など。2012年11月

から4ヶ月半に渡って開催された東京・森美術館での大規模個展「天才でごめんなさい」には約49万人の観客を動員した。小説「青春と変態」（ABC出版、1999年）、エッセイ集「カリコリせんとや生まれけむ」（幻冬舎、2010年）、「美しそうな少女の乳房はなぜ大理石でできていないのか」（幻冬舎、2012年）など著作多数。自身の制作を追ったドキュメンタリー映画に「ニ・会田誠～無気力大陸」（B.B.B. Inc.、2003年公開）、「駄作の中にだけ俺がいる」（Z-factory、2012年公開）がある。



生き方の評価は嬉しい

国内の美術賞とはほとんど縁のない僕ですが――とはいえ絵描きとして邪道と自覚しているので何の不満もないのですが――初の受賞が安吾賞というのは嬉しい限りです。文学の賞でも、作品の質的評価だけではなく、生き方とか在り方みたいなあたりの評価もあるらしいところが、嬉しいと同時に身が引き締まる思いがしました。これから生き方もあるらしいところもつとテキトーな生き方に邁進せねばと、決意を新たにした次第です。

追伸。同郷の大先輩・坂口安吾さんのことは折に触れ意識していますが、その話はまた別の機会に…。

会田誠

会田誠

あいだ・まこと
美術家

△安吾賞△

偽悪の人 II 会田誠

街にも、狙いも、計算も、プランも無い人である。もしかしたら、ちょっとだけ、愛が欲しい人かも知れない。
敬愛する人や未だ会えぬ愛しい人へのラブレターを書くように絵を描く。「想い」を届けたいのだろう。しかも、その手法は、直球ではなく前人未踏の「偽悪」という変化球に彩られている。
その一方で、あからさまな自我を描くことによって、自分自身とも対峙しているように見える。裸の自分をさらけ出すことは、相当な胆力が必要だ。
「偽悪」のメインディッシュをともに喰らい、ともに墜ちきつてみたい、と思わせる。これは、安吾も共感するところだろう。



大友 良英

おおとも・よしひで
音楽家

△新潟市特別賞△

新潟の皆さんありがとうございます

文学とはほとんど接点のないわたし
が坂口安吾さんの名を冠した賞を
いたくなど恐れ多いことと一瞬躊躇しましたが、単に文学ということ
ではなく生き方にこそ焦点を当てる
いという賞の趣旨を知り、さらには
新潟のみなさん的情熱に打たれ、あ
りがたく受け取ることになりました。

地方と中央の問題に対する 文化ができること

今回の受賞は、とりわけ震災後の福島での活動が評価されたと聞いております。震災を経過し、自分が育った福島と向き合う中で強く感じるのは、震災や原発の問題だけではなく、戦後、いやもしかしたら明治の頃からずっとその背景にあり続ける地方と中央の問題にこそ、文化の側面からも向うべきなのではないか。そのことは単に福島だけの問題ではなく、新潟も含めた日本の問題

そのものだと思っています。NHKの朝のドラマ「あまちゃん」の音楽も、その相応抜きには考えられませんでしとし、福島でやっている活動の多くも、そのことに力点を置いています。
まだまだ、扉を開けたばかり
とはいえ、悔しいかな、まだなにも成し遂げていません。やつと扉を開け出しただけ。これからなんです。いやいや、焦っているわけではありません。何十年も積み重なつて来た問題が1年や2年で解決するはずもなく、なので今回の賞は、そうしたわたしたちの歩みへの激励と受け取らせてもらい、賞金もそのために使わせてもらえばと思っておりま

す。
新潟のみなさん、本当にありがとうございました。

大友良英

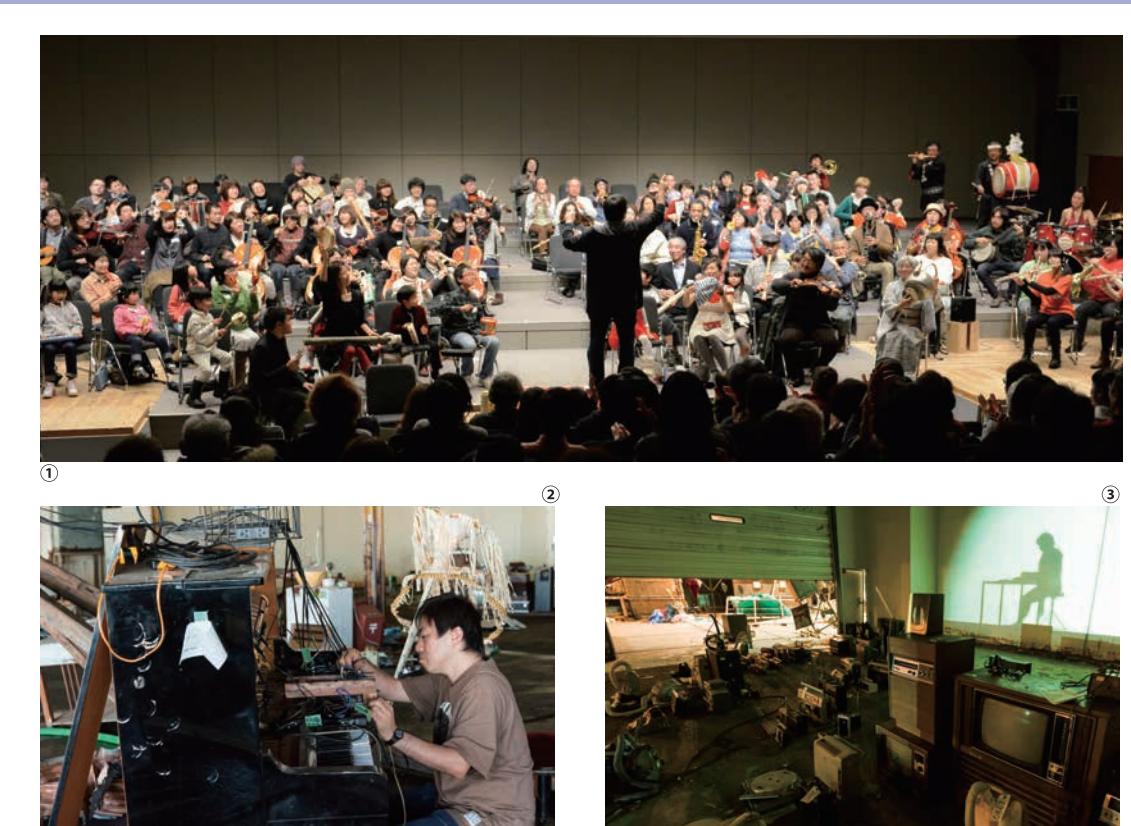


写真 2012年水と土の芸術祭（新潟市）：①オーケストラNIIGATA=一般参加者がやかん、ナベ、祭り太鼓などを持参し、大友さんらの指揮で即興音楽を奏でた。②、③水辺を臨む旧水揚場ではオブジェと音楽のコラボレーション作品を展示了。撮影：①=内藤雅子、②③=村井勇



【大友良英プロフィール】

ギタリスト/ターンテーブル奏者/作曲家/プロデューサー。

1959年横浜生れ。十代を福島市で過ごす。常に同時進行かつインディペンデントに即興演奏やノイズ的な作品からポップスに至るまで多種多様な音楽をつくり続け、その活動範囲は世界中におよぶ。映画音楽家としても数多くの映像作品の音楽を手がけ、その数は70作品を超える。

近年は「アンサンブルズ」の名のもとさまざまな人たちとのコラボレーションを軸に展示する音楽作品を手がけると同時に、障害のある子どもたちとの音楽ワークショップや一般

参加型のプロジェクトにも力をいれている。2011年の東日本大震災を受け、遠藤ミチロウ、和合亮一とともにプロジェクトFUKUSHIMA!を立ち上げ、この活動で2012年には芸術選奨文部科学大臣賞芸術振興部門を受賞、現在も活動を継続中。2013年にはNHK朝の連続ドラマ「あまちゃん」の音楽を手がけ、数々の曲をヒットチャートに送り込む。著書に『MUSIC』(岩波書店)、『大友良英のJAMJAM日記』(河出書房)、『ENSEMBLES』(月曜社)『クロニクルFUKUSHIMA』(青土社)『シャッター商店街と線量計』(青土社)等がある。

音・楽・家||大友良英

東日本大震災は、ミュージシャンをはじめとし、小説家、画家、彫刻家、果てはお笑い芸人まで、自存の是非を突きつけた。遊芸、愉悦の輩は、存在価値があるのだろうか…、と立ち尽くしたという。
しかし、今こそが芸能の神通力を振り、歓喜と命の瑞々しさを呼び戻す時。それが芸能の本来の姿。
大友さんのかざす指先から希望のメロディが生まれる。高価な楽器もいらない。立場も地域も越えて人々の心をつなぎ、傷ついた心を癒す。まるで魔法のように。
音・楽・家||大友さんは、いつでもそこにいる。



会田さん、おめでとう。

会田誠さん、おめでとう。

坂口安吾は、敗戦後の絶望に打ちひがれた日本の国民に『墮落論』を突きつけて、萎えた精神と肉体に、新鮮な刺激を与えてくれました。

北京で敗戦を迎える年、引き上げてきた私はまだ二十四歳の未熟な女でした。敗戦を機に、私はそれまでの素直な優等生的生き方を捨て、自分らしく生きたいと切望していたのです。その時安吾の「墮ちよ、墮ちよ」という言葉が輝く灯となつて新しい道をさし示してくれました。

私は家を捨て、夫と子どもを捨て、たちまち噂の女となり非難的となりました。しかしそこには思いもかけなかつた無限の自由が待っていました。安吾の灯がずっと導き輝いてくれました。安吾は私の生涯の恩人です。どの賞よりも安吾賞をいただい

▼瀬戸内寂聴

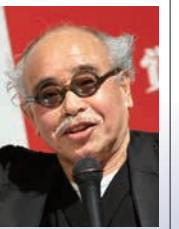


第3回
安吾賞受賞

た時は誇りで一杯でした。

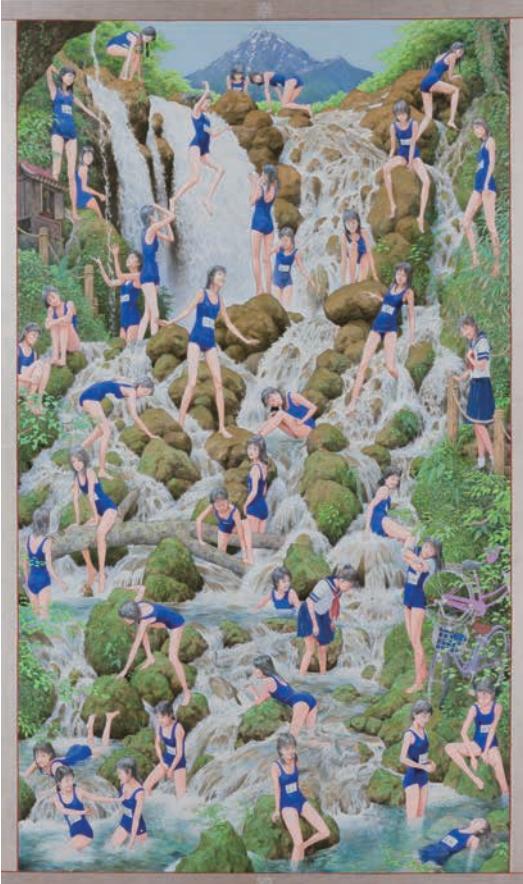
会田誠さんは、すでに輝かい天才を發揮されています。「ごめんなさい」などと心にもないことを言わないで、堂々と益々天才ぶりを發揮して下さい。安吾の靈はあなたの受賞を喜んでいることでしょう。

▼荒木 経惟



第6回
安吾賞受賞

2013年12月18日受賞者発表会に寄せて



滝の絵 (2007-2010) キャンバス、アクリル絵具 439x272cm
撮影: 福永一夫 国立国際美術館蔵



撮影: 木奥恵三 Courtesy Mizuma Art Gallery



新潟世界 (「みんなといっしょ」シリーズより) (2002) 模造紙、油性マーカー、水彩絵具 160x120cm 撮影: 二塚一徹

もつとテキトーな生き方に邁進せねば:
安吾と僕は、新潟の砂と風が吹き荒れる
乾いた原風景を共有していると思う
初の受賞が安吾賞でよかつた 会田誠



電信柱、カラス、その他 (2012) パネル、キャンバス、アクリル絵具 (六曲一隻屏風) 360x1020cm 森美術館蔵 撮影: 渡邊修
展示風景: 「会田誠展: 天才でごめんなさい」、森美術館、東京、2012-13



選考委員会

2013
8/28

全国から推薦があつた80余りの個人・団体の中から選考が行われた。宣言書にある「権威におもねらず本質を提示するもの」「自らの信念を貫き挑戦し続けるもの」「日本人に勇気元気を与えるもの」を選考の基準としながら、白熱した議論が交わされ、第8回安吾賞は会田誠さんに決まった。

記者会見

2013
11/13

篠田市長と三枝選考委員長、安吾のご長男の坂口綱男さんによる記者会見が新潟市で行われた。「会田さんは、絵画、立体造形、写真、パフォーマンス、漫画、小説などあらゆる手法を用い、現代社会を写しとる型破りな表現をしてきた。その現代的

[第8回] 安吾賞受信

出でよ、現代の安吾



受賞者発表会: 左から、三浦末雄さん、篠田昭新潟市長、会田誠さん、三枝成彰選考委員長、坂口綱男さん

界を表現し続ける姿勢は、新潟市民をはじめ多くの人に、感動を与えた」と述べた。

受賞者発表会

2013
12/18

東京都内のホテルにおいて、出版・報道各社、関係者などを招き、会田誠さん出席のもと受賞者発表会を開催した。当日は、会田さんの所属するミヅマートギャラリーのエグゼクティブディレクターの三浦末雄さんもお祝いに駆けつけ、安吾賞の歴代受賞者である瀬戸内寂聴さん、荒木經惟さんからもメッセージが寄せられた。

席上、会田さんは「安吾と僕は、新潟の砂と風が吹き荒れる乾いた原風景を共有していると思う。初の受賞が安吾賞でよかった。親は安心したことやないですか。海外の芸術賞だと反応はないんですけど、新潟市の出でいるモチベーションです。だから僕は現代の無頼派というよりは、そういう意図で、安吾のような人をずっと気にしているということでもあるんですけどね。」と語った。

発信し続け、福島の人々に勇気を与えていたほか、新潟における活動としては、水と土の芸術祭2012において、多くの市民との作品制作がある。自らの信念を貫き、新しい世



記者会見: 左から
坂口綱男さん、篠田昭新潟市長、三枝成彰選考委員長

か歴史の中によみがえるであろう

正十年、中学生三年生の九月、落第が決定となり東京の豊山中学三年に編入。この時、新潟中学校の机のふたに「余は偉大なる落伍者となつていつの日か歴史の中にようがえるであろう」と彫ったという。大正十四年豊山中学を卒業。世田谷下北沢の分教場（現代沢小学校）の代用教員となり自然の中に悪童たちと遊んだ。その体験は『風と光と二十の私』になる。この頃から道の厳しさに対する憧れが強まる。

また、新潟市特別賞について篠田市長は「音楽家の大友良英さんにお贈りする。地元の人々の協力と多彩な芸術家との連携で『プロジェクトFUKUSHIMA!』を立ち上げ、

福島へのメッセージを社会へ向けて

発信し続け、福島の人々に勇気を与えていたほか、新潟における活動としては、水と土の芸術祭2012において、多くの市民との作品制作がある。自らの信念を貫き、新しい世

福島へのメッセージを社会へ向けて

発信し続け、福島の人々に勇気を与えていたほか、新潟における活動としては、水と土の芸術祭2012において、多くの市民との作品制作がある。自らの信念を貫き、新しい世

福島へのメッセージを社会へ向けて

安吾年譜

明治三十九年（一九〇六）十月二十日、父

仁一郎、母アサの五男として新潟市西大畑町に生まれる。（本名・炳五）西堀幼稚園、新潟尋常高等小学校（現新潟小学校）へ進む。大正八年県立新潟中学校（現県立新潟高等学校）入学。この頃から学校にもあまり登校せず、ひとり日本海に面する浜辺に寝ころんで空と海と風と波と光とを終日眺め思索した。荒漠たる風と日本海の風景は安吾文学の原風景といえる。

余は偉大なる落伍者となつていつの日

ク・ラブに陥り、安吾は懊惱し酒場のマダムなどと同棲するデカダンスな生活を重ね、四年後ようやく彼女と袂別を決意。昭和十三年、新たな決意のもと執筆した長編『吹雪物語』は酷評され、安吾は自分に絶望し、転居を繰り返し自らを孤独の淵に置きながら、どん底の淪落の生活を送る。しかし『紫大納言』（昭十五）、『木々の精』（昭十五）などの新境地をひらく。『木枯の酒倉から』を発表。五月『ふるさとの哲学』を読破、睡眠四時間という厳しい修行生活を一年半続け神経衰弱に陥つたが、それを梵語、パーリ語、チベット語、フランス語、ラテン語などを猛然と勉強することにより克服した。

求道者、安吾

大正十五年、東洋大学印度哲学倫理学科に入学。悟りを開くため多くの哲学宗教書を読破、睡眠四時間という厳しい修行生活を一年半続け神経衰弱に陥つたが、それを梵語、パーリ語、チベット語、フランス語、ラテン語などを猛然と勉強することにより克服した。

文壇デビュー

昭和六年一月、処女作『木枯の酒倉から』を発表。五月『ふるさとの哲学』を読破、睡眠四時間という厳しい修行生活を一年半続け神経衰弱に陥つたが、それを梵語、パーリ語、チベット語、フランス語、ラテン語などを猛然と勉強することにより克服した。

小菅刑務所・ドライアイス工場・軍艦に見いだす必然の美

昭和七年、国粹主義の時代、大胆な『日本文化私観』を発表し、伝統文化を鵜呑みにするこの欺瞞を指摘した。

墮ちることにより眞実の救いを発見せよ

昭和二十一年、敗戦後の昏迷中のいち早く戦後の本質を洞察し、四月『堕落論』、六月に『白痴』を発表。この二編は、若者を中心に戦後虚脱していた日本人に強い衝撃を与えた。戦前戦中の倫理観を捨て新たな生き方を指示する革命的宣言は希望の書となり、『堕落論』によって戦後の日本が再スタートした。昭和二十二年『風と光と二十の私と』、『桜の森の満開の下』、『不連続殺人事件』、『青鬼の禪を洗う女』を発表。

戦う安吾

昭和二十五年、『安吾巷談』を連載し、戦後のタブーに挑戦する。昭和二十六年国税局と税金滞納、差押えをめぐつて『負ヶ子ラマゼン勝ツマヂハ』を発表。税金闘争をひとり戦い抜き、競輪不正事件で自転車振興会を相手どり戦う。『夜長姫と耳男』（昭二十七）発表。

急逝

昭和三十年（一九五五）二月十七日、古代史の雄大な構想とともに、原風景に由来する創造活動に意欲を燃やしあじめた矢先に、桐生の自宅で脳溢血で急逝した。享年四十八。

安吾賞選考委員



委員長
三枝 成彰
作曲家



副委員長
齋藤 正行
安吾の会世話人代表
新潟・市民映画館シネ・ウインド代表



角川 歴彦
株式会社 KADOKAWA
取締役会長



手塚 真
ヴィジュアリスト



三好 一美
日本MITエンタープライズフォーラム理事
パイロ エンタープライズ代表取締役社長



第8回 安吾賞授賞式 2014年1月16日（木）新潟市音楽文化会館

- 授与式（安吾賞・新潟市特別賞）
- 受賞者インタビュー
- ライブ！ライブ！ライブ！
(ライブペインティングと即興演奏のセッション)

安吾賞推薦人 (敬称略50音順)

青木 邦雄	(財)東日本鉄道文化財団副理事長
青島 健太	スポーツライター
安斎 隆	(株)セブン銀行代表取締役会長
稻盛 和夫	京セラ(株)名誉会長／稻盛財団理事長
植村 鞠音	著述業
内田 力	(株)コロナ代表取締役社長
梅原 猛	哲学者
遠藤 尚子	アルビレックススチアリーダーズ・ディレクター
荻野 アンナ	作家／慶應義塾大学教授（文学部）
鎌田 薫	早稲田大学総長
川淵 三郎	(財)日本サッカー協会最高顧問
北川 正恭	早稲田大学大学院教授
熊澤 敏之	筑摩書房代表取締役社長
小林 幸子	歌手
佐藤 忠男	映画評論家／日本映画大学学長
佐藤 信秋	参議院議員
関川 夏央	作家
高澤 正樹	新潟放送特別顧問／日本文芸家協会会員
武田 鉄矢	海援隊
田中 里沙	宣伝会議編集室長
檀 太郎	CMプロデューサー／エッセイスト
福田 勝之	新潟商工会議所会頭
中山 輝也	新潟経済同友会特別幹事
野沢 慎吾	セコム上信越（株）代表取締役会長
服部 幸應	(学)服部学園理事長／服部栄養専門学校校長／医学博士／新潟市食と花の総合アドバイザー
早野 透	桜美林大学教授
半藤 一利	作家
火坂 雅志	小説家
福武 総一郎	(株)ベネッセホールディングス取締役会長
藤沢 周	作家／法政大学教授
三浦 未雄	(株)ミヅマアートギャラリーエグゼクティブディレクター
三田村 邦彦	俳優
村松 友視	作家
山口 昭男	岩波書店代表取締役社長
山本 寛斎	デザイナー／プロデューサー

安吾賞賛同者 (敬称略50音順)

渥美 千尋	在アイルランド特命全権大使
泉田 裕彦	新潟県知事
内海 桂子	(社)漫才協会名誉会長
ジェームス三木	脚本家
篠田 正浩	映画監督
瀬戸内 寂聰	作家／僧侶
檀 ふみ	女優
福原 義春	(株)資生堂名誉会長
宮田 亮平	東京藝術大学 学長
(株)旺文社	

肩書きは2013年4月1日現在のものです。

■ 安吾賞事務局

〒 951-8550 新潟市文化政策課
TEL. 025-226-2563 FAX. 025-230-0450
E-mail bunka@city.niigata.lg.jp

■ 安吾賞 URL

<http://www.city.niigata.lg.jp/info/bunka/ango>

■ 坂口安吾デジタルミュージアム URL

<http://www.ango-museum.jp>